



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 中越パルプ工業株式会社
 コード番号 3877 URL <https://www.chuetsu-pulp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植松 久
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 秋永 吉男
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 0766-26-2404

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	24,224	8.4	1,105	35.7	1,791	77.4	1,429	100.6
2022年3月期第1四半期	22,352	20.3	814		1,009		712	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,523百万円 (148.6%) 2022年3月期第1四半期 612百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	107.04	
2022年3月期第1四半期	53.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	119,894	49,876	41.6	3,733.58
2022年3月期	122,029	48,620	39.8	3,639.20

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 49,844百万円 2022年3月期 48,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		20.00		20.00	40.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,000	11.1	400	63.9	500	64.6	200	75.1	14.98
通期	101,000	12.1	1,500	36.2	1,700	44.8	1,100	13.3	82.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	13,354,688 株	2022年3月期	13,354,688 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	4,334 株	2022年3月期	4,314 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	13,350,364 株	2022年3月期1Q	13,350,863 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経済環境は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、各種規制の緩和が進み経済活動の持ち直しが期待されましたが、急激な円安の進行や緊迫するロシア・ウクライナ問題による国際情勢の不安定化、資源価格・原燃料価格の急騰等への懸念が高まり、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような状況のなか当社グループは、紙・パルプ事業の生産体制再構築の取り組みを進めるとともに、グループ事業について選択と集中による収益力向上を図るなど、既存事業の発展・強化に努めております。

環境ビジネスとしては、nanoforestの鶏舎用改善資材としての販売や農業資材の法人向け試験販売を開始するなど実用化への取り組みを進めるとともに、減プラへ貢献する中越エコプロダクツ事業の早期事業化に注力しております。

当第1四半期連結累計期間の営業成績につきましては、原燃料価格の急騰や国内販売減少のなか、製品価格の改定や輸出販売強化に取り組むとともに製造コストの縮減に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	24,224 百万円	(前年同四半期比 8.4%増)
連結営業利益	1,105 百万円	(前年同四半期比 35.7%増)
連結経常利益	1,791 百万円	(前年同四半期比 77.4%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,429 百万円	(前年同四半期比 100.6%増)

(紙・パルプ製造事業)

紙パルプ事業につきましては、想定以上の原燃価格急騰の環境下、製品価格の改定とともに、前年度に調達・生産した原燃料・製品の払い出し影響等によるコスト低減が寄与し、増収増益となりました。

◎ 新聞用紙

新聞用紙につきましては、発行部数の減少による全体的な需要減と前期の他社被災に伴う新聞社への救援納入が大きかったため、数量、金額共に前期を下回りました。

◎ 印刷用紙

印刷用紙の国内販売につきましては、コロナ禍で落ち込んでいた経済活動は緩やかな回復傾向にありますが、当年春からの値上げの実施に依る前倒し特需が前年度末に発生した影響で数量は減少、金額は値上げが寄与して前期を上回る事が出来ました。

◎ 包装用紙

包装用紙の販売につきましては、値上げが寄与し金額は前期を上回りましたが、数量は半導体不足による自動車関連の盛り上がりで前期を下回りました。

◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

特殊紙・板紙及び加工品等の販売につきましては、壁紙は好調に推移し前期を上回り、脱プラ需要および巣ごもり需要の食品関連を中心とした加工原紙も前期を上回ることが出来ました。金額に関しましても値上げが寄与し前期を上回ることが出来ました。

◎ パルプ

パルプの販売につきましては、数量は若干減少しましたが、世界的にパルプ市況が回復し金額は前期を上回りました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	21,231 百万円	(前年同四半期比 6.6%増)
連結営業利益	803 百万円	(前年同四半期比 17.9%増)

(発電事業)

発電事業につきましては、燃料価格の急騰による売電単価の価格改定を行ったことや、今年度は隔年で行っているボイラーの定期検査がなかったことなどにより増収・増益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	1,803百万円	(前年同四半期比 25.2%増)
連結営業利益	186百万円	(前年同四半期比 171.2%増)

(その他)

株式会社文運堂の事業整理に伴い減収となりましたが、紙断裁選別包装・運送事業等の紙・パルプ製造事業を補助する「その他の事業」でコスト低減に努めたことにより増益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	4,441百万円	(前年同四半期比 3.6%減)
連結営業利益	67百万円	(前年同四半期比 8.3%増)

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

現金及び預金が1,661百万円減少したことや、減価償却等により有形固定資産が880百万円減少したこと等により、総資産は前連結会計年度末に比べて1.7%減少し、119,894百万円となりました。

(負債)

金融機関からの借入金が1,577百万円減少したことや、支払手形及び買掛金が797百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べて4.6%減少し、70,017百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、49,876百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益1,429百万円により利益剰余金が増加したことによります。自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.8ポイント増加し、41.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました「2022年3月期決算短信」における業績予想から見直しは行っておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,861	13,199
受取手形、売掛金及び契約資産	22,720	22,509
商品及び製品	8,124	7,977
仕掛品	492	500
原材料及び貯蔵品	4,539	5,227
その他	2,564	2,637
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	53,301	52,049
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,044	52,122
減価償却累計額	△35,505	△35,799
建物及び構築物（純額）	16,539	16,323
機械装置及び運搬具	240,663	240,902
減価償却累計額	△214,656	△215,553
機械装置及び運搬具（純額）	26,007	25,348
その他	13,074	13,086
減価償却累計額	△2,932	△2,951
その他（純額）	10,141	10,135
有形固定資産合計	52,688	51,807
無形固定資産		
その他	386	362
無形固定資産合計	386	362
投資その他の資産		
投資有価証券	8,256	8,418
その他	7,420	7,276
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	15,632	15,649
固定資産合計	68,707	67,819
繰延資産	20	24
資産合計	122,029	119,894

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,979	12,181
短期借入金	27,328	27,043
未払法人税等	493	271
賞与引当金	512	182
その他	5,255	4,802
流動負債合計	46,569	44,480
固定負債		
長期借入金	20,442	19,150
固定資産撤去費用引当金	320	320
環境対策引当金	159	157
関係会社事業損失引当金	47	47
事業構造改革引当金	60	78
退職給付に係る負債	5,631	5,581
その他	178	201
固定負債合計	26,839	25,537
負債合計	73,408	70,017
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,864	18,864
資本剰余金	16,253	16,253
利益剰余金	12,905	14,068
自己株式	△7	△7
株主資本合計	48,015	49,177
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	799	829
為替換算調整勘定	31	92
退職給付に係る調整累計額	△262	△255
その他の包括利益累計額合計	568	666
非支配株主持分	35	32
純資産合計	48,620	49,876
負債純資産合計	122,029	119,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	22,352	24,224
売上原価	18,680	20,103
売上総利益	3,671	4,121
販売費及び一般管理費		
販売手数料	44	31
運搬費	1,497	1,652
保管費	416	391
その他	898	941
販売費及び一般管理費合計	2,856	3,016
営業利益	814	1,105
営業外収益		
受取利息	19	17
受取配当金	72	90
為替差益	44	573
持分法による投資利益	116	50
その他	27	25
営業外収益合計	279	757
営業外費用		
支払利息	73	62
その他	10	8
営業外費用合計	84	71
経常利益	1,009	1,791
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	71	35
事業構造改革費用	-	35
特別退職金	22	15
その他	18	-
特別損失合計	112	86
税金等調整前四半期純利益	898	1,704
法人税、住民税及び事業税	93	167
法人税等調整額	96	111
法人税等合計	189	279
四半期純利益	708	1,425
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	712	1,429

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	708	1,425
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132	35
退職給付に係る調整額	5	6
持分法適用会社に対する持分相当額	31	56
その他の包括利益合計	△95	97
四半期包括利益	612	1,523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	616	1,527
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,977	1,440	20,418	1,934	22,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	932	—	932	2,671	3,603
計	19,909	1,440	21,350	4,605	25,956
セグメント利益	681	68	750	62	813

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業、中越エコプロダクツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	750
「その他」の区分の利益	62
セグメント間取引消去	18
棚卸資産の調整額	△21
その他の調整額	4
四半期連結損益計算書の営業利益	814

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	紙・パルプ 製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,749	1,803	22,553	1,671	24,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	482	—	482	2,769	3,252
計	21,231	1,803	23,035	4,441	27,477
セグメント利益	803	186	990	67	1,058

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業、中越エコプロダクツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	990
「その他」の区分の利益	67
セグメント間取引消去	19
棚卸資産の調整額	22
その他の調整額	4
四半期連結損益計算書の営業利益	1,105

(重要な後発事象)

該当事項はありません。